

一般質問 吉田修議員 1項目を問う



吉田修議員

問 四季折々の自然風景やダム湖に魅せられ、多くの方が来町する。一方で、心無いものが捨てたとみられるペットボトルや家庭ごみ、電化製品などの不法投棄が多いが、町の対策は。

答 効果的な監視体制と強化を図る為、各地区に不法投棄監視連絡員の配置し、年に一度不法投棄物を回収。30年度からは監視用カメラも設置している。

問 ポイ捨て、粗大ごみ不法投棄対策について

答 水源の町として、自然環境の向上を目指したい

問 町道、林道などで不法投棄が目立っている。家庭ごみやテレビなどの電化製品、鉄くずなど、粗大ごみの不法投棄は悪質で犯罪である。対策強化が必要では。

答 不法投棄はなかなか後を絶たないのが現状。不法投棄は法律で罰則が規定されている。悪質なものにつ

問 自然景観、環境を守る為、自治会をはじめ、さまざまな団体が清掃活動をしている。もっと看板を増やすべきでは。

答 不法投棄禁止看板はダム周辺やごみが捨てられた場所を中心に、現在20カ所設置している。今後、必要な箇所には積極的に設置したい。



▲不法投棄の現場

問 罰則を科した町独自の条例を制定し、看板等で促すべきと考えるが。

答 ゴミ捨て禁止看板には監視カメラの絵柄も入れ、注意喚起している。町の条例にも不法投棄物の禁止、廃棄物の回収命令などの規定があるが、法律や条例に準じ、水質保全や自然景観、生活環境の向上を目指したい。



問 不法投棄禁止の看板製作に、子供たちや町民から標語を募集する考えは。

答 小、中学校児童生徒のポスター的看板については、学校サイドで打ち合わせをしたい。不法監視については、不法監視員、また住民みずから監視を強めていくことも大事なことであり、このような仕組みで、今後も取り組んでいきたい。

緊急質問 梅津政志議員 1項目を問う



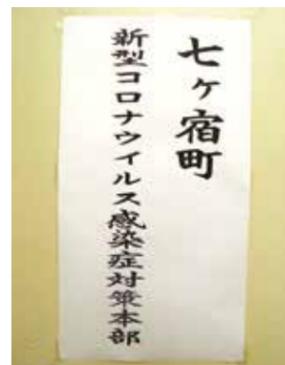
梅津政志議員

問 感染を未然に防止する対策と、入手困難なマスクや消毒液など町の備蓄は。また住民からの支給要請への対応は。

答 マスクの備蓄は1万4千枚あり町内介護施設及び飲食関連施設に4千枚のマスクを既に配布済み。消毒液は各施設入り口に設置済みだが備蓄量は残りわずかである。感染すると重症化する可能性のある妊婦や在宅酸素療法者、人工透析患者については保有状況を確認し充足している。

問 町の新型コロナウイルス感染拡大防止対策は

答 対策本部を設置し今後の対応策を決定した



▲新型コロナウイルス対策本部

問 公共施設や不特定多数が利用する施設への感染防止のための指導と対策は。

答 新型コロナウイルス感染拡大防止の文書を発出し、従業員のマスク着用やこまめな体調管理と消毒、清掃を指示し感染防止に努めている。

問 町内小・中学校が休校となり家庭をも巻き込む大きな問題となっているが授業時数や休業中の児童の指導など、学校や教育委員会の対応は。

答 受験生は大事な時期であり、不安を最小限にとどめる対応をとった。又、他の児童は電話連絡や家庭訪問で状況を確認。放課後児童クラブを朝から開所し、保育所は通常通り開所している。

問 学校給食の調理に関わる人達や、その他の就業環境への影響は。

答 現在、給食調理室等の清掃点検を実施し通常通り業務を実施しており労働環境に影響はない。

問 町内の観光業への影響が懸念されるが各事業所に対する町の支援策は。

答 県の融資制度が受けられるよう相談に応じる。町が設置する中小企業、観光施設等の融資制度を運用し支援をする。

問 町内において万が一感染が疑われる場合の検査体制や安全確保対策、連絡体制や医療機関についての電話相談等の対応は。

答 感染の疑いがある場合、国保診療所に問い合わせをし医師の指示に従う。一般の患者との接触を避け国・県が示す判断基準に従い対応する。